

第11回 AECE 技術フォーラム

主催: 先端エネルギー変換工学寄付研究部門(AECE)

共催: エネルギー工学連携研究センター(CEE)

世界のエネルギー情勢と石炭利用技術の動向 World Energy Situation and 21st Century Coal Technology

日本のエネルギー基本計画も未だ確定せず日本の状況は大きな過渡期にあります。一方世界では米国のシェールガスの台頭により天然ガスシフトの大きな動きがあります。ただアジアや中央ヨーロッパなどでは、いずれにしても発電の根幹は石炭火力であり、今後とも多くのプラントが建設される見通しです。今後の石炭火力の動向はどうなるのか、技術開発はどうなるのか、またその中で日本の果たすべき役割は何なのかを、米国石炭高度利用技術の第一人者であるDr. Phillipsをお招きして技術フォーラムを開催致します。皆様の御参加をお待ちしています。

日時: 平成26年2月25日 (火)

13:00~18:20

(受付開始12:30)

会場: 東京大学生産技術研究所
コンベンションホール(An棟2階)
(東京大学駒場第二キャンパス)

交通: 京王井の頭線

駒場東大前駅より徒歩10分

小田急線/千代田線

東北沢駅より徒歩7分

代々木上原駅より徒歩12分

参加費: 無料

講演資料集代: 2000円

懇親会費: 3000円

お問い合わせ・お申し込み

東京大学生産技術研究所
先端エネルギー変換工学寄付研究部門
(エネルギー工学連携研究センター)

参加申込締切: 平成26年2月19日

金子研究室 遠藤研究員

TEL: 03-5452-6850

FAX: 03-5452-6849

Email: aece@iis.u-tokyo.ac.jp

参加申込: 下記金子研究室ホームページより

お申し込み下さい。

<http://www.kaneko-lab.iis.u-tokyo.ac.jp>

定員: 先着 250名

(定員になり次第申込締切)

プログラム

- 13:00-13:10 開会あいさつ
東京大学生産技術研究所長
中埜良昭
- 13:10-13:50 日本の石炭利用技術とJCOALの役割
(一財)石炭エネルギーセンター 参事
原田道昭
- 13:50-14:40 高効率発電技術と石炭の役割
東京大学生産技術研究所 特任教授
金子祥三
- 14:40-15:10 -----休憩-----
- 15:10-16:40 [特別講演] 世界のエネルギー情勢と石炭利用技術
“World Energy Situation and 21st Century Coal Technology”
米国電力研究所(EPRI) 上級プログラム部長
Senior Program Manager, Electric Power Research Institute
Dr. Jeffrey Phillips
- 16:40-17:40 ポーランドのエネルギー事情と褐炭高度利用技術
“Energy Situation in Poland and Efficient Use of Lignite”
ポーランドAGH工科大学
AGH University of Science and Technology
Anna Sciazko
- 17:40-18:20 日本における石炭採掘技術の現状
---釧路コールマインの現状と新たな展開---
釧路コールマイン株式会社 上席常務執行役員
松本裕之
- 閉会あいさつ
- *****
- [意見交換・懇親会]
- 18:30-20:00 レストランCapo PELLICANO [An棟1階]

[注] 講演題目と内容、発表時刻等に一部変更の可能性があること御了解下さい

東京大学

AECE

先端エネルギー変換工学寄付研究部門

Advanced Energy Conversion Engineering